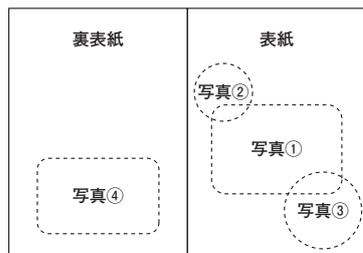


文部科学省シンボルマーク

文部科学省シンボルマークは「羅針盤」をモチーフとしています。教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の振興を通じて、希望に満ちた未来を目指す、文部科学省の役割を表しています。上部の円は進むべき方向を象徴し、その使命を見失うことなく、誠意と熱意をもって任務に専心する姿勢を示しています。下部の円の中央から放射状に広がる直線は、社会に開かれた文部科学省の姿勢を表現しています。同時に、親しみやすい簡潔なデザインからは、人、地球など、様々なイメージへと自由に連想を広げることができます。

色彩は日本人に古来なじまれてきた青色を基調として、「瑠璃（るり）色」と「空色」を使用しました。「瑠璃色」は強い意志、品格と知性、「空色」は誠意と未来への広がりという意味しています。

このシンボルマークは、国民の皆様とのコミュニケーションを深めていくための取組の一環として、平成20年1月の新庁舎への移転を機会に制定されたものです。文部科学省は、このマークに込められた意味を忘れることなく、任務に取り組んでまいります。



写真①: 日本が南アフリカを34-32で破る大金星を挙げた、ラグビーワールドカップ2015イングランド大会

[写真提供: (公財) 日本ラグビーフットボール協会]

写真②: 障害の有無にかかわらず、スポーツ・レクリエーションを楽しんでいる子供たち

写真③: 入学後間もない小学1年生に寄り添い、授業の理解が進むよう、丁寧に支援を行う地域のボランティア

[写真提供: 延岡市立北方学園学校支援地域本部]

写真④: 小学3年生の総合的な学習の時間で、地域の専門学校と連携した取組で大根を収穫している山潟小学校の子供たち

[写真提供: 新潟市立山潟小学校学校支援地域本部]